

## 環境基本計画の進行管理について

### 1 基本的な枠組

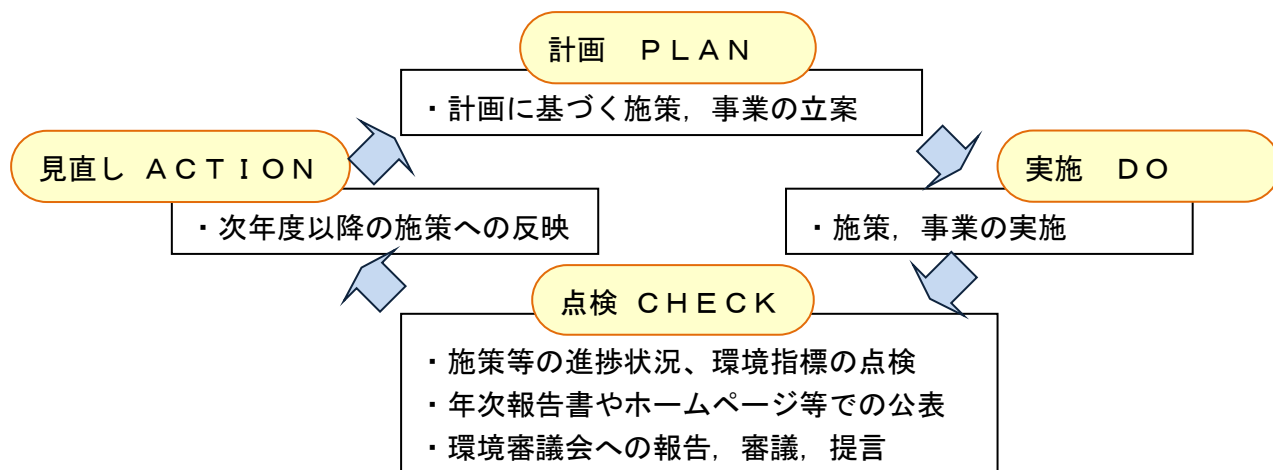
#### (1) 点検・評価

計画に掲げる環境指標について、市民へのアンケート調査や最新の数値を把握し、進行状況の点検・評価を行う。

#### (2) 点検・評価を受けての見直し

計画の進行状況・評価結果及び京都市環境審議会における意見・提言等を踏まえ、新たな事業の実施、既存事業の見直し等の検討を行う。

環境指標に関しては、計画の進行状況の的確な点検・評価を行うという目的から、計画策定後においても、適宜、新規の環境指標の採用、目標数値の新規設定や修正といった見直しを行う。



### 2 計画の点検評価

#### (1) 基本的な考え方

計画の進行状況の点検・評価を行うための「環境指標」として、①施策・取組の状況を客観的な数値により把握して評価を行う「客観的指標」に加え、新たに、②市民の皆様の実感度を把握して評価を行う「主観的指標」を設定し、主観・客観の両面から総合的な評価を行う。

#### (2) 環境指標による分析の進め方

##### ① 客観的指標の把握

計画に掲げた客観的指標（別紙1参照）の実績値を把握する。

## ② 主観的指標の把握

市民アンケートにより、市民の実感度を5段階（そう感じる、まあそう感じる、どちらとも言えない、あまりそう感じない、そう感じない）で把握する。

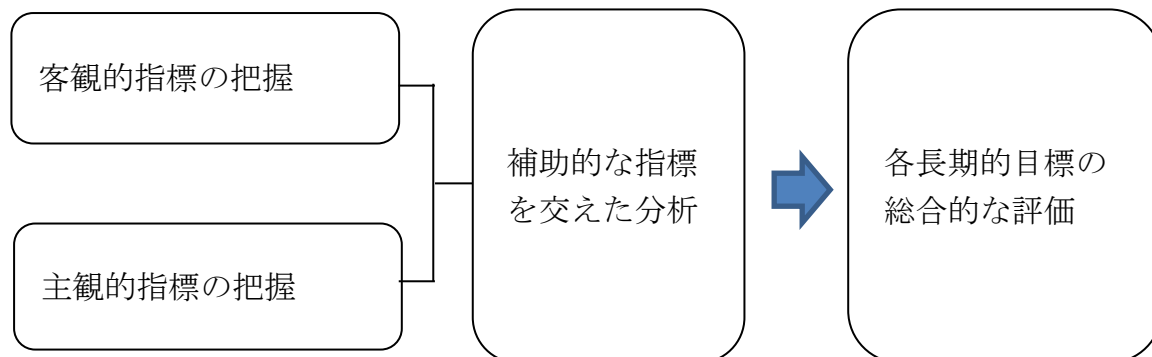
## ③ 補助的な指標を用いた分析

「京都市環境基本計画（2016～2025）」では、設定した環境指標（主観的指標、客観的指標各11項目）だけで、多岐にわたる環境施策を評価するのは難しいことから、各施策分野の取組実績を正しく把握し、適切に点検・評価できるよう、指標以外の数値データや市民の実感度を補助的に把握する必要がある。

このことを踏まえ、主観的指標については別紙2のとおり、追加質問項目を設定するとともに、客観的指標についても、今後、補助的な指標の追加を検討していく。

## ④ 総合的な評価の実施

客観的指標による評価、主観的指標による評価をもとに、補助的な指標を併せて分析し、長期的目標ごとに総合的な評価を行う。



## 3 アンケート調査実施概要について（詳細は別紙2のとおり）

- (1) 時期 平成29年3月
- (2) 調査対象数 京都市内在住者 約1,000人
- (3) 実施手法 業務委託によるインターネット調査
- (4) 設問項目 別紙2のとおり

## 4 今後の予定

アンケートの結果を踏まえ、環境基本計画評価検討部会において、点検・評価手法の検証を行う。